

【調査速報】鎌倉時代の屋敷地を発見！

—愛知郡愛荘町長野遺跡・川原遺跡・八坂遺跡—

【令和6年度の調査概要】「県内各地での発掘調査を振り返って」

【お知らせ】催物案内・募集

「しがぶん募金」ご支援・ご協力ありがとうございます！



【調査速報】鎌倉時代の屋敷地を発見！

えちぐんあいしょう ながの かわはら はっさか
 —愛知郡愛荘町 長野遺跡・川原遺跡・八坂遺跡—



鎌倉時代の屋敷地

長野遺跡・川原遺跡・八坂遺跡は、愛知郡愛荘町長野・川原地先に所在しており、県道整備事業に伴って、令和6年度に発掘調査を実施しました。

これまでの発掘調査で、弥生時代～平安時代の遺構・遺物が確認されており、このうち奈良時代の遺物には、寺院や役所で出土することの多い墨書土器や硯などがみられます。また、調査地の500mほど南東に位置する大隠神社が「大領宮」「大領堂」と呼ばれていたことから、郡役所の長官を意味する「大領」に通じるとして、長野遺跡周辺は古代の郡役所である愛知郡衙の推定地ともされています。

今回の調査では、郡衙など公的施設に関する遺構・遺物は確認されませんでしたが、弥生時代後期の方形竪穴建物3棟のほか、平安時代前期の板組井戸1基、さらに、鎌倉時代の屋敷地などが見つかりました。

この屋敷地は、区画溝を伴っており、掘立柱建物や複数の石組井戸もみられます。溝や土坑からはたくさんの土師器皿(かわらけ)をはじめ、白磁碗・青磁碗といった輸入磁器が出土地しました。

今回の調査成果は、近江東部における中世集落の具体的な様子がうかがえる成果となりました。

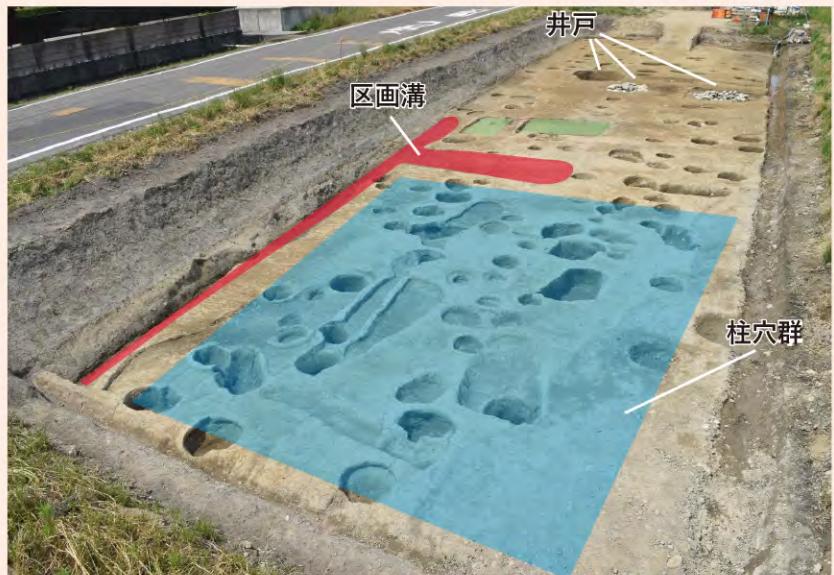
◆鎌倉時代の屋敷地

今回の調査では、掘立柱建物や井戸などと共に、居住域(屋敷地)を区画する溝がみつかりました。区画溝は幅2m前後で、掘立柱建物と同じ向きに伸びています。また、屋敷地には複数の柱穴が確認できることから、建物が複数回にわたり建て直されている可能性があります。

◆石組み井戸を発見

屋敷地では7基の井戸がみつかりました。このうち2基は素掘り井戸、5基は石組み井戸でした。

石組み井戸については、拳大から人頭大の石を積み上げて井戸枠にしており、湧水層に接する最下部には曲げ物が設置されていました。鎌倉時代において、石組み構造の井戸が発見されることは少なく、当遺跡で井戸枠に石組が採用された理由については、今後、検討していく必要があります。



鎌倉時代の屋敷地



石組み井戸の断面



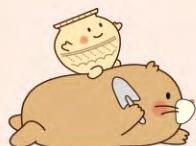
石組み井戸



溝から出土した土器

◆発掘された大量の土器

屋敷地で見つかった溝の一部では、最下層から30~40枚ほどの土師器皿(かわらけ)のほか、白磁碗、青磁碗といった輸入磁器、木製の箸などがまとめてみつかりました。屋敷地や周辺で行われた宴や祭事に使われたものが、一度に投棄された可能性があります。



~発掘調査現場の作業員さんの声~

今回の調査では、地元愛荘町のほか、東近江市、多賀町のシルバー人材センターの方々に作業員として参加していただきました。

みなさんからは、「夏の暑い時期は心が折れそうになりましたが、毎日が楽しく、本当にいい経験を積ませてもらいました。」などのお声をいただきました。夏の暑いさ中、作業していただいて、本当に頭が下がります。皆さんの熱意によって、近江の鎌倉時代の集落の様子がよりわかってきました!



詳細資料

◇当協会では、発掘調査の作業員さんとして、シルバー人材センター会員の皆さんに、お手伝いいただいています。



令和6年度も、当協会では、県内各地で計画された各種開発事業に伴う事前発掘調査を実施しました。対象となる遺跡は時代・時期とともにさまざまでしたが、滋賀県の歴史をあきらかにする重要な成果をえました。本通信でも紹介いたしましたが、今回は、それら令和6年度の調査例から特に2つの遺跡を取り上げて、その成果を振り返ってみます。

みたちまえ いせき

◆御館前遺跡：近江八幡市千僧供町に所在する御館前遺跡では、令和4年度から県道工事に伴って発掘調査を実施しています。今年度の調査では、弥生時代～古墳時代頃の墓や、奈良時代頃の掘立柱建物13棟を確認しました（写真①）。

この御館前遺跡では、周辺でのこれまでの調査などから、古代の郡役所（蒲生郡衙）の存在が推定されていました。今回確認した掘立柱建物群はすべて建物の向きが正南北方位に揃い、コの字形に配置されていることくわえて、建物群のなかには柱を据え付ける穴の規模が0.8m前後と大きな大型建物もありました（写真②）。これらは古代の役所などの公的施設の建物と共通する特徴であることから、今回見つかった建物群は蒲生郡衙関係施設ではないかと考えられます。

あみだじ いせき
◆阿弥陀寺遺跡：近江八幡市北津田町・島町に所在する阿弥陀寺遺跡では、砂防工事に伴って令和4年度から発掘調査を実施しています。「阿弥陀寺」は平安時代に創建と伝わる山寺の遺跡です。中世頃には多くの寺坊が山中に展開し、天台宗の大規模な寺院だったようです。しかし、元亀2年（1571）に織田信長による焼き討ちを受けて以降、衰退したとされています。そのため、寺院の詳細な内容は不明でした。

今回の発掘調査は、広大な寺域の一番北側の谷筋で実施しました。調査の結果、麓から山頂へむけて続く直線道路とその両側に複数の平坦面が階段状に連接する状況を確認しました（写真③）。道路の最奥部には中心施設があり、その下に続く平坦面群には寺坊などの関連施設が展開していたと考えられます。今年度の調査では、平坦面と平坦面の間の段差に設けられた石垣・石積を確認しました（写真④）。残念ながら、寺院廃絶後に平坦面は畑などに利用され、その過程で石垣の多くが後世に積み直されていましたが、一部には寺院の時代の古い石垣が遺存していました。



①御館前遺跡で見つかった奈良時代の掘立柱建物群

奥の建物の向こう側に、古代道路である東山道を踏襲した旧中山道が、さらにその隣に旧中山道を踏襲した国道8号があります。



②御館前遺跡で見つかった奈良時代の掘立柱建物（詳細）

四角い穴は柱を据えたてた柱穴です。一辺約0.8m程度の大型の掘方でした。据えられた柱も太く、大型建物であったと考えられます。



③阿弥陀寺遺跡で見つかった山寺に関連する遺構

中央には麓から続く直線道路が山麓へむけてのびています。その両側には階段状に複数の平坦面が作られていました。平坦面は後世の畑地化により削られていきましたが、本来は寺坊等の施設が展開していたと考えられます。

平坦面の段差部分に石垣が築かれています。大きな石が本来の寺院に伴う石垣です。本来はさらに高く積みあげられていたはずですが、大半が崩落し、一番下の石材のみが残っています。



詳細情報

【お知らせ】

催物案内・募集

しがぶんちゃん



◆催物案内1「令和7年度 文化財連続講座」

当協会の調査員や連携する大学の教員がさまざまなテーマや切り口で近江の歴史を紐解く人気の講座。オンラインでも受講でき、遠方の方もお楽しみいただけます。

●場所 滋賀県埋蔵文化財センター（大津市瀬田）

* サテライト（平和堂石山店・県立安土城考古博物館）・オンライン受講あり。

●時間 10:00～11:30

●受講料 12,000円（全講一括）

* サテライト・オンライン受講の場合は8,000円

●申込締切 令和7年5月15日（木）17:00

* 申込者が受講定員を超えた場合は抽選。

●問合先 公益財団法人滋賀県文化財保護協会

077-548-9780（平日8:30～17:15）



↑当協会

※詳細は、当協会ホームページをご覧いただくか、
お電話でお問い合わせください。

一令和7年度のラインナップ

第1講 6/27（金） 当協会調査員 濑口眞司
「日本最古の土偶のヒミツ—東近江市相谷土偶の正体—」

第2講 7/25（金） 当協会調査員 辻川哲朗
「近江の埴輪と王権」

第3講 8/22（金） 当協会調査員 宮村誠二
「聖徳太子と近江の古代寺院」

第4講 9/26（金） 当協会調査員 堀 真人
「近江の綠釉陶器とその生産」

第5講 10/24（金） 京都橘大学 中久保辰夫氏
「須恵器生産の展開と近江」

第6講 11/21（金） 滋賀県立大学 佐藤亞聖氏
「近江の石造物と精神文化」

第7講 12/19（金） 安土城考古博物館 佐藤佑樹
「瓦からみた近江の城郭」

第8講 1/23（金） 当協会調査員 森田真由香
「近江の近世錢貨から見えてくるもの」

◆催物案内2 2025年4月～6月 *問合先 0748-46-2424(会場:滋賀県立安土城考古博物館)

*入館は16:30まで。

日程	時間	種類	イベント	定員	予約	参加費	会場
4/26(土)～6/15(日)	9:00～17:00	展示	令和7年度春季特別展 安土城築城450年・発掘調査85周年記念 『安土城・2025－信長の夢のあと－』	無	不要	入館料	当館 企画展示室 (一部第二常設展示室)
4/27(日)	10:00～16:00	探訪	城郭探訪『観音寺城跡と桑實寺』	10名	要	2000円	観音寺城跡・桑實寺
5/10(土)	13:30～15:00	講座	春季特別展関連講座『廃城以降から考える、安土城の歴史と調査』 「廃城後の安土城」 講師：佐藤佑樹(当館学芸員)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム
5/11(日)	13:00～16:00	探訪	城郭探訪『安土城跡』	20名	要	2000円	当館・安土城跡
5/24(土)	13:30～15:00	講座	春季特別展関連講座『廃城以降から考える、安土城の歴史と調査』 「安土城 平成の調査」 講師：岩橋隆浩氏(滋賀県文化スポーツ部文化財保護課)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム
5/31(土)	13:30～15:00	講座	春季特別展関連講座『廃城以降から考える、安土城の歴史と調査』 「安土城 令和の調査」 講師：松田篤氏(滋賀県文化スポーツ部文化財保護課)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム
6/3(火)～8/3(日)	9:00～17:00	展示	特別陳列Ⅰ・地域連携企画展『明智光秀と近江』	無	不要	入館料	当館 第二常設展示室
6/7(土)	13:30～15:00	講座	連続講座Ⅰ『近江の城 調査・研究の最前線』 「坂本城跡調査の最新成果」 講師：岡田有矢氏(大津市市民部文化財保護課)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム
6/14(土)	13:30～15:00	講座	地域連携企画展関連講座『中世都市坂本と明智光秀の築城』 講師：福島克彦氏(大山崎町歴史資料館館長)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム
6/21(土)	13:30～15:01	講座	連続講座Ⅰ『近江の城 調査・研究の最前線』 「中世近江の探石と城」 講師：渡邊貴洋氏(野洲市教育委員会文化財保護課)	120名	不要	500円	当館 セミナールーム

★安土城考古博物館 第1常設展示室をリニューアルオープン！

安土城天主をイメージした八角形シアターが3/18(火)に

オープン。最新の研究成果をもとに、織田信長が
安土築城について語るドラマ仕立ての映像や、高
精細フルCGによる安土城の再現映像が迫ります。

八角形シアター(イメージ)→



【お知らせ】文化財で人づくり・地域づくり

「しがぶん募金」のご支援・ご協力ありがとうございます！



「しがぶん募金」は、令和6年度には96,428円(令和7年度2月現在)のご寄付をいただきました。寄付金は、文化財が持つ価値と情報をさらに活かして、時代を担う人づくり、地域づくりのため、様々な普及啓発に使わせていただきます。

寄付をいただきました皆様への感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

◆令和6年度 寄付者様ご芳名（順不同・敬称略）

原田 明人・八木 牧人・吉田 勝晶・一色 英希

【掲載を希望されない寄付者様】 8名 (令和7年2月現在)

*ご芳名の公開を希望されない寄付者様につきましては、掲載しておりません。

今後とも、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



令和6年度普及啓発事業の一部（大学生による展示解説）

◆ 令和7年4月1日刊行 / 編集・発行：公益財団法人滋賀県文化財保護協会 / TEL:077-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2 / 電話：077-548-9780/FAX：077-543-1525
イラスト：早田まな（まめのぶくん）・岩崎里水（50周年記念広報キャラクター：どきっち・しがぶんちゃん）